第4回 長崎大学病院 ICLSコース報告書

長崎大学病院は、救急医療教育の一環として、全研修医の日本救急医学会認定『ICLSアシスタントインストラクター』資格取得を目指しております！

平成26年8月23日（土）開催

共催：長崎シミュレーション教育研究会
長崎大学病院　医療教育開発センター
救急医療教育室
協力：日本光電九州株式会社
レールダル メディカル ジャパン株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS（一次救命処置）に習熟する
- AED（自動体外式除細動器）を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- 除細動の適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知2り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生１１名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。
また、スタッフ（コースディレクター2名、インストラクター3名、アシスタントインストラクター3名）計８名で指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.4

◆実施内容◆

開催日時	平成26年8月23日（日） 9:20～17:05
受講者数	11名
対象	初期研修医
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター、リハビリ室、第四会議室

スケジュール			
		グループ(1)	グループ(2)
9:00～9:20	0:20	受　付	
9:20～9:30	0:10	オリエンテーション	
9:30～10:05	0:35	BLS+AED	
10:05～10:15	0:10	休憩・移動	
10:15～11:15	1:00	気道管理（A）	モニター（B）
10:15～10:25	0:10	休憩・移動	
11:25～12:25	1:00	モニター（B）	気道管理（A）
12:25～13:15	0:50	昼　食	
13:15～13:20	0:05	BLS・ALSデモンストレーション	
13:20～14:30	1:10	チーム蘇生(B)	チーム蘇生(A)
		VF/VT	VF/VT
14:30～14:40	0:10	休　憩	
14:40～15:25	0:45	non　VF/VT（A）	non　VF/VT（B）
15:25～15:40	0:15	休憩・移動	
15:40～16:40	1:00	メガコード（A）	メガコード（B）
16:40～17:05	0:15	終了式・修了証授与式	

＜受講者＞

	名前	年次	所属
グループ1	高島 寿美恵	2	済生会長崎病院
	金子 翔平	1	長崎大学病院
	寺島歩	1	長崎大学病院
	江口美紀	1	長崎大学病院
	橋本 慎太郎	1	長崎大学病院
グループ2	堀 麻美	2	長崎大学病院
	田島 和昌	1	長崎大学病院
	朝野 寛視	1	長崎大学病院
	玉城　由佳理	1	長崎大学病院
	樋口 真帆	1	長崎大学病院
	田中 達士	1	長崎大学病院

計11名

＜スタッフ＞

役割	名前	所属
コースディレクター	長谷 敦子	医療教育開発センター／救急医療教育室
インストラクター	山野 修平	救命救急センター
インストラクター	柴田 英貴	消化器内科
インストラクター	田下 博	看護部／医療教育開発センター
インストラクター	荒木 利卓	長崎医療センター／総合診療科
アシスタントインストラクター	吉村 聡志	長崎医療センター／循環器内科
アシスタントインストラクター	藤田 拓郎	みなとメディカルセンター／（研修医）
アシスタントインストラクター	白石 斗士雄	医療教育開発センター（研修医）
事務	花井 寿々子	医療教育開発センター／救急医療教育室

＜A.気道管理／B.モニター・除細動＞

A：山野先生、荒木先生、吉村先生、白石先生

B：柴田先生、田下看護師、藤田先生

◆アンケート◆
受講者からの声

色々な役割で実践できたので、実際の場面でも自分の役割を探してやれると思いました。とにかく胸骨圧迫のない時間を無くすことを繰り返し指導して頂いたので、心に刻みました。

前より自信を持てるようになった。落ち着いて対応できるようになったと思います。

落ち着いて対応できるようになったと思います。

見ているのと、やってできないことが多いことに対し、チームの人から自分の評価をしてもらうのがよかった。

受けるまでは急変の対応にまったく自信がなかったが、これからは積極的にできそうです。

実際に同じようなことが起こった場合に、すぐ動けるかどうか分からないが、必要なものは把握できるようになった。

ICLSの基本的な流れは身につけることができたと思います。今の自分でも可能なこと不可能なことが明確になった。

◆アンケート◆
スタッフの声

1）受講者の態度・意欲はどうだったか？
・午前中は、少しおとなしかった。昼からは元気だった。
・慣れたら積極さが出てきた。質問も多く意欲的だった。
・おおむね良かった。

2）予備知識（予習含む）はどうだったか？
・予習はしていないということでした。
・もう少し、事前にアルゴリズムの勉強をしていると学びが増えるきがした。
・午前中の予備知識（除細動）が不足していた。
・もう少し予習してきても良いと思った。
・みんな優秀でした。
・お互いが補い合って、状況把握できていた。
・予備知識は十分だったと思います。

3）ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？
・話し方、伝え方などうまい。自分も見習いたい。
・ベテランの先生と看護師の方と一緒だったので、安心でした。
・良く予習をしてきていた。
・仕事しやすかった。
・素晴らしかった。

4）今後について、ひとこと
・また参加したいと思います。よろしくお願いします。
・継続していきたい。
・頑張りましょう!!
・今後はインストラクターとして頑張りたいです。今後も盛り上げていきましょう。
・看護師のインストラクターも増やして、看護師中心のコースを開催できるようにしてはどうでしょうか。

●改善点●
・ハートシムの不具合があったが、業者が来ていたのですぐ回避できて良かった。
・シナリオの一部変更する必要があると感じた。
・インストラクター用のマニュアルを作った方が良い。受講生に説明する内容などで抜けがないようにしたい。とのことで今後作っていく予定。

準備する資機材リスト（2ブース分）

資機材名	必要数	備考
ハートシム、操作用PC	3	予備の1台を含む
レサシアン	4	1ブースに2体
バックバルブマスク	2	
AEDトレーナー	4	複数機種
気道管理トレーナー	2	
モニター付き除細動器	2	単相性と二相性を1台ずつ （1台は日本光電から借用）
気道管理ボックス	2	各ブースに1箱づつ
内訳） 注射器10ml		
バイトブロック		
吸引チューブ		
エアウエイ		
経鼻エアウエイ		
聴診器		
ポケットマスク		
喉頭鏡（4．0）		
喉頭鏡柄		
チューブ固定具		
酸素マスク		
酸素カニュラ		
挿管チューブ		
スタイレット		
CO2チェッカー		
テープ		
点滴	2	各ブースに1つずつ
点滴スタンド	2	各ブースに1つずつ
ワゴン	2	
骨髄針	1～2	日本光電から借用
聴診器	2	
アルコール綿	多めに	
タオル	4	
ホワイトボード	2	
ホワイトボードマーカー4色	8	
ストップウォッチ	2	
メトロノーム	2	
延長コード	4	
プロジェクター	2	各ブースに1つずつ
スクリーン	2	各ブースに1つずつ

長崎大学病院
医療教育開発センター
救急医療教育室
〒852-8501
長崎市坂本1丁目7番1号
電話　(095) 819-7881
FAX　(095) 819-7882